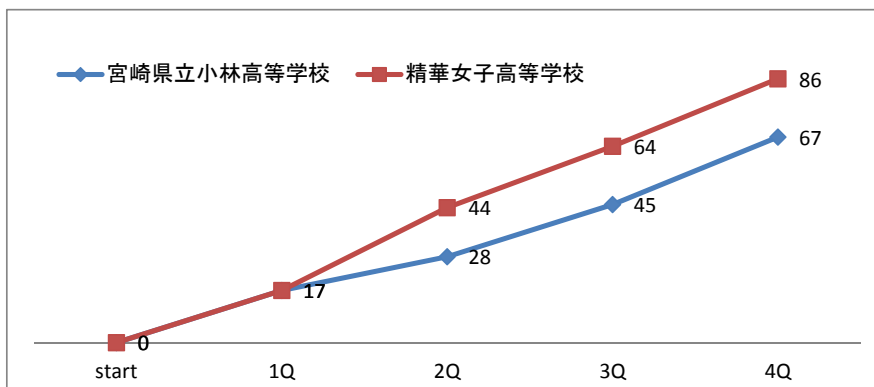


平成25年度 全九州高等学校体育大会 第66回 全九州高等学校バスケットボール競技大会 女子の部

女子準決勝	宮崎県立小林高等学校	67	<table border="0"> <tr><td>17</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>11</td><td>-</td><td>27</td></tr> <tr><td>17</td><td>-</td><td>20</td></tr> <tr><td>22</td><td>-</td><td>22</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	17	-	17	11	-	27	17	-	20	22	-	22	-	-	-	86	精華女子高等学校
17	-	17																		
11	-	27																		
17	-	20																		
22	-	22																		
-	-	-																		
主審 大久保 好純	(宮崎県1位)	●		○	(福岡県2位)															
第1副審 安藤 剛																				
第2副審 國吉 由華																				

No. 23b1 日時: 2013年6月23日(日) 9:00 会場: 宮崎県体育館



宮崎県立小林高等学校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 武 愛実	3	0	1	1	3
5	* 高木 伽奈	26	0	11	4	3
6	有吉 恵美	-	-	-	-	-
7	* 永野 紗緒理	9	1	3	0	3
8	* 日高 由貴	12	1	3	3	3
9	* 関之尾 希	13	1	5	0	4
10	岡元 麻緑恵	0	0	0	0	3
11	大野 亜寿華	2	0	1	0	0
12	六ヶ所 希望	2	0	1	0	0
13	外山 芹香	0	0	0	0	1
14	山田 有紀子	0	0	0	0	3
15	渡口 杏奈	-	-	-	-	-
コーチ	西田 次良					
	合計	67	3	25	8	23

精華女子高等学校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 足立 結唯	5	1	0	2	5
5	* 有田 かな	10	2	2	0	1
6	* 瀬山 楓	24	0	10	4	5
7	* 後藤 優	29	1	12	2	1
8	* 大石 真央	12	0	6	0	1
9	細田 幸伽	0	0	0	0	0
10	藤田 さくら	0	0	0	0	0
11	笹木 倫	-	-	-	-	-
12	栗原 颯生	0	0	0	0	0
13	土屋 りさ	-	-	-	-	-
14	渡辺 由衣菜	4	0	2	0	0
15	橋本 真彩	2	0	1	0	1
コーチ	大上 晴司					
	合計	86	4	33	8	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

女子準決勝第1試合目は接戦を勝ち抜いてきた小林と1・2回戦を大差で勝ち抜いてきた精華女子の対戦となった。ゲームは精華#7のシュートで幕を開け、直後に小林#9が3Pを決める速いゲーム展開となった。2-3ゾーンで堅く守る小林を攻めあぐる精華は外からのシュートが多くなり、残り7分でタイムアウト。ここから小林のゾーンに切り込んで打つ精華のシュートが決まり始める。一方、小林もDefリバウンドからの速攻を見せるなどゲームは再び速い展開へ。終盤、小林が追いたところで第1ピリオド終了(17-17)。

第2ピリオドは両チームしっかりとしたDefで点数の動かないゲームスタート。精華は小林#5をしっかりマークし、得点を許さない一方、#6、#5が連続でシュートを決めていく。引き離されまいとする小林は残り8分のところでたまたまタイムアウト(17-23)。しかし、精華のドライブインをとめられず、引き離される。シュートが思うように決まらないことに加え、精華の速い戻りに速攻を決められず、外からのシュートが多くなる小林。終盤、精華はゾーンDefが成立する前に速攻で攻めて第2ピリオド終了(28-44)。

第3ピリオドは、序盤小林#8が鋭いドライブインで得点し、追い上げムードを見せるが、精華のシュートも決まり始める。ここで流れを変えるべく小林がタイムアウト(残り6分 33-51)。その後は両チーム取られたら取り返す一進一退の攻防。残り1分半、小林はメンバーをフルチェンジし、オールコートプレスで精華に対抗。第3ピリオド終了(45-64)。

小林は第3ピリオド終了時点のメンバーのまま第4ピリオドに挑む。激しいオールコートプレス、小林#11の鋭いドライブなどで一気にムードを高めていくが、ファウルが続くまもなく流れを作れない。その後、小林はメンバーをフルで入れ替え、逆転を目指す。しかし、後半チームファウルが5回になってしまった小林は強く当たれない状況となる。精華はコートを手広く使いスペースを作りながら攻め、小林を引き離しにかかる。最後は精華#8、6、15などのシュートが決まり試合終了(67-86)。精華女子が決勝に進んだ。

記載者

甲斐 輝人